TRANSFORM

2016. 4. 25
第 27 号
神港学園神港高等学校
校　訓
進取・練磨・礼節

ハンドボール部

神戸市高等学校春季ハンドボール大会兼県総体シード権争奪戦が、4月16日（土）と17日（日）に神戸国際大学附属高校のグランドで行われました。

1部リーグの4校でリーグ戦が行われ、神戸市立科学技術高校に20対18で勝利し、1勝2敗で3位になりました。

これで県総体の8シードを確保し、優位に試合を進めることができます。県大会での活躍を期待したいと思います。

柔道部

4月23日（土）に県総体体重別神戸地区予選が、グリーンアリーナ神戸で開催されました。

男子・60kg級2位堀竜大（3年和歌山市立楠見中）、66kg級3位高橋寛多（1年小野市立小野中）73kg級2位小林礼弥（3年和歌山市立楠見中）、100kg超級1位佐藤貴成（3年同中）、女子・48kg級3位池田萠美（3年神戸市立塩屋中）、63kg級3位上西捺美（3年同雲雀丘中）。

県総体で優勝と、インターハイへの出場を期待しています。

空手道部

平成28年度第43回神戸市高等学校春季空手道大会が、4月23日（土）に県立文化体育館で開催されました。

団体組手の1回戦で夢野台と対戦し2勝1敗2引き分け、2回戦は神戸学院大附属（4勝0敗1分け）、準決勝戦は神戸第一（4勝1敗）、決勝戦は兵庫工業に敗れ、準優勝となりました。

登録選手は、多田嵩流（3年神戸市立多聞東中）、石井将貴（2年同神陵台中）、阪井達朗（同太山寺中）、尾﨑二千翔（同御影中）、佐藤夕雅（1年尼崎市立大庄中）、尾花和哉（神戸市立魚崎中）

今大会の団体組手の結果だけが、県総体での組み合わせ（シード権）に影響しますので、県総体での活躍が十分期待できます。

テニス部

テニス団体の県総体が、4月24日（日）に啓明学院高校で開催され、1回戦は東灘高校に2対1で勝ち、2回戦は神戸高校に1対2で敗れました。出場者は、中野勝吾（3年神戸市立御影中）、冨依大誠（同高倉中）、富田凌平（2年同太山寺中）、津賀智哉（同星和台中）でした。

試合登録メンバー

3年生・赤本悠斗（明石市立大久保中）、松本卓人（神戸市立井吹台中）、山本貴就（明石市立魚住中）、嶋陸斗（同大久保北中）、吉野優志（神戸市立横尾中）、曽谷海渡（同筒井台中）、石本大我（同西落合中）、池田倫（加古川市立平岡中）、2年生・小谷輝（明石市立大久保中）、樋口真生（神戸市立筒井台中）、塚本敬亮（同舞子中）、川中裕介（同西代中）、田渕晴貴（同魚崎中）、1年生・村上俊宏（明石市立大久保北中）

ちょっと一言　スポーツの国際大会をテレビで見ていると、いろんな国の国歌を聴く機会があります。他国の国歌の意味を調べてみると、半分以上が「戦いの歌」でした。そしてほとんどが18世紀以降に作詞されたものでした。しかし、日本の「君が代」は、古今和歌集（912年完成）の中に見られ、国歌の歌詞としては世界最古です。ナショナリズム（国家主義）や政治的思想の影響はなく、ひらがな32文字の歌詞は、世界最短の国歌のひとつで、平和を願い国の永遠性を願う素晴らしい国歌といえるでしょう。曲は1880年頃に作られました